



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社タカチホ

コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺島 千博 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,453	10.4	456	29.3	456	29.8	369	14.6
2023年3月期第3四半期	5,847	38.7	353	-	351	-	322	689.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 374百万円 (14.9%) 2023年3月期第3四半期 325百万円 (701.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	577.38	-
2023年3月期第3四半期	506.91	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	4,435	1,761	39.7	2,740.48
2023年3月期	4,166	1,374	33.0	2,160.16

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,761百万円 2023年3月期 1,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	7.7	400	21.5	395	20.5	280	△39.2	440.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	727,500株	2023年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	84,876株	2023年3月期	91,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	640,070株	2023年3月期3Q	636,131株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が一段と進み、景気は緩やかな回復傾向が継続しました。

国内においては、個人消費やインバウンド需要などの内需が幅広い分野で持ち直し、昨年度の全国旅行支援によるクーポン効果が剥落した影響はあったものの、観光・レジャー需要も回復基調が継続しました。一方で、資源価格や原材料価格高騰の長期化、物価上昇に伴う消費マインドの低下、コロナ禍での消費行動・価値観の変化、観光事業における慢性的な労働力不足等、依然として先行きが不透明な状況も続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、機会を捉えた商品供給による販売強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,453百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は456百万円（前年同四半期比29.3%増）、経常利益は456百万円（前年同四半期比29.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は369百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が一段と進み、観光・レジャー需要の回復基調が継続する中で、新商品開発や販売を強化したことで受注も増加し、売上高は4,946百万円（前年同四半期比21.2%増）となり、営業利益は518百万円（前年同四半期比63.6%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が一段と進み、観光・レジャー需要は回復基調が継続したことにより販売が増加したものの、前年に開催された長野市における善光寺御開帳効果や全国旅行支援によるクーポン効果が剥落し、売上高は673百万円（前年同四半期比6.1%減）となり、営業利益は41百万円（前年同四半期比52.2%減）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が一段と進み、観光・レジャー需要は回復基調が継続する中で、新商品開発や販売を強化したことで受注も増加し、売上高は126百万円（前年同四半期比17.5%増）となり、営業利益は30百万円（前年同四半期は3百万円の営業損失）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、前年度に価格改定を行い資源価格の上昇による運営費増加を吸収したことに加え、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により飲食利用も回復したことで、売上高は215百万円（前年同四半期比8.7%増）となり、営業利益は30百万円（前年同四半期比117.8%増）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。このうち自社運営していた飲食店舗を賃貸に変更したこと等により、賃料収入は110百万円（前年同四半期比18.1%増）となり、営業利益は39百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、コロナ禍を背景として増加したアウトドアユーザーの需要が一巡したほか、競合店の進出等の影響により、売上高は339百万円（前年同四半期比24.0%減）となり、営業損益は0百万円の営業損失（前年同四半期は43百万円の営業利益）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、ギフト店、飲食店の運営が含まれます。保険代理店及びギフト店等のノンコア事業の見直しを進めた結果、売上高は41百万円（前年同四半期比79.6%減）となり、営業利益は3百万円（前年同四半期比88.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円(14.2%)増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が201百万円、商品及び製品が245百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が169百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円(0.9%)減少いたしました。これは主に有形固定資産が22百万円減少した一方、投資その他の資産が3百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は4,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ268百万円(6.5%)増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円(12.3%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が204百万円増加した一方、短期借入金が26百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円(15.9%)減少いたしました。これは主に長期借入金が254百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円(4.2%)減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,761百万円となり、前連結会計年度末に比べ386百万円(28.2%)増加いたしました。これは主に利益剰余金が369百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.70%(前連結会計年度末は32.98%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を修正し、売上高7,900百万円、営業利益400百万円、経常利益395百万円、親会社株主に帰属する当期純利益280百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	913,524	744,430
受取手形及び売掛金	651,018	852,675
商品及び製品	391,593	637,338
原材料及び貯蔵品	41,100	43,151
その他	30,442	38,701
貸倒引当金	△1,056	△1,459
流動資産合計	2,026,622	2,314,839
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	575,441	561,113
土地	902,820	902,820
その他（純額）	108,207	99,879
有形固定資産合計	1,586,469	1,563,813
無形固定資産	112,131	112,404
投資その他の資産		
敷金及び保証金	116,349	113,552
その他	336,658	342,500
貸倒引当金	△11,518	△11,533
投資その他の資産合計	441,488	444,519
固定資産合計	2,140,090	2,120,737
資産合計	4,166,713	4,435,576
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,370	609,880
短期借入金	356,397	329,776
未払法人税等	78,896	59,320
賞与引当金	45,963	36,420
契約負債	13,632	13,375
その他	256,530	250,368
流動負債合計	1,156,790	1,299,141
固定負債		
長期借入金	1,312,505	1,058,464
資産除去債務	94,807	95,823
その他	228,470	221,045
固定負債合計	1,635,782	1,375,333
負債合計	2,792,573	2,674,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	701,711	701,882
利益剰余金	△152,711	216,849
自己株式	△179,140	△166,409
株主資本合計	1,369,858	1,752,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,281	8,779
その他の包括利益累計額合計	4,281	8,779
純資産合計	1,374,140	1,761,101
負債純資産合計	4,166,713	4,435,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,847,199	6,453,019
売上原価	4,168,827	4,649,307
売上総利益	1,678,371	1,803,712
販売費及び一般管理費	1,325,311	1,347,179
営業利益	353,060	456,533
営業外収益		
受取利息	14	35
受取配当金	644	702
受取事務手数料	968	891
受取手数料	4,816	3,937
その他	2,029	2,259
営業外収益合計	8,472	7,825
営業外費用		
支払利息	8,343	7,040
その他	1,466	788
営業外費用合計	9,810	7,829
経常利益	351,722	456,529
特別利益		
助成金収入	46,049	231
事業譲渡益	2,750	—
特別利益合計	48,799	231
特別損失		
固定資産除却損	405	0
減損損失	—	2,592
特別損失合計	405	2,592
税金等調整前四半期純利益	400,117	454,168
法人税、住民税及び事業税	73,406	84,163
法人税等調整額	4,250	443
法人税等合計	77,656	84,607
四半期純利益	322,461	369,560
親会社株主に帰属する四半期純利益	322,461	369,560

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	322,461	369,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,156	4,498
その他の包括利益合計	3,156	4,498
四半期包括利益	325,617	374,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,617	374,059
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

《セグメント情報》

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	4,080,536	716,897	107,316	198,307	—	446,867	5,549,925	203,289	5,753,215	—	5,753,215
その他の収益	—	—	—	—	93,983	—	93,983	—	93,983	—	93,983
外部顧客への 売上高	4,080,536	716,897	107,316	198,307	93,983	446,867	5,643,909	203,289	5,847,199	—	5,847,199
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	55,215	—	161,615	—	22,005	—	238,836	134,033	372,870	△372,870	—
計	4,135,751	716,897	268,932	198,307	115,988	446,867	5,882,745	337,323	6,220,069	△372,870	5,847,199
セグメント 利益又は 損失(△)	316,729	87,135	△3,659	13,834	31,500	43,456	488,996	29,855	518,852	△165,792	353,060

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト用品事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	4,946,394	673,082	126,135	215,491	—	339,492	6,300,596	41,432	6,342,028	—	6,342,028
その他の収益	—	—	—	—	110,990	—	110,990	—	110,990	—	110,990
外部顧客への 売上高	4,946,394	673,082	126,135	215,491	110,990	339,492	6,411,587	41,432	6,453,019	—	6,453,019
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	58,850	—	199,121	—	21,600	—	279,571	122,559	402,131	△402,131	—
計	5,005,244	673,082	325,256	215,491	132,590	339,492	6,691,159	163,992	6,855,151	△402,131	6,453,019
セグメント 利益又は 損失(△)	518,297	41,692	30,391	30,131	39,764	△979	659,298	3,438	662,736	△206,203	456,533

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アウトドア用品事業」セグメントにおいて2,592千円の減損損失を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。